

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	ハタハタ増殖事業	3-5
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	3
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	厚田支所産業振興課	直通電話	78-2012
担当部長	鈴木 徳昭	担当課長	澄川 典弘
		担当者	池垣 旬

1 事業のアウトライン			
(1) 事業概要及び交付金額等の積算根拠	親魚の購入及び人工授精、漂着卵の回収等のハタハタ増殖事業を行う石狩湾漁業協同組合ハタハタ部会に対し、事業費の4割以内の補助金を交付する。		
(2) 事業開始年度	平成8年度	(3) 事業終了年度	未定
(4) 総合計画での事業体系	テーマ等	元気で活力あるまち	
	施策項目(大)	水産業の振興	
	施策項目(小)	つくり育てる水産業の確立と後継者などの育成	
	施策コード	30201	

2 事業の内容	
(1) 事業の目的 何のために	沿岸漁業者の経営の安定化と漁業振興を図る。
(2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	ハタハタ稚魚を厚田海域内に放流し、漁獲高の増大を図る。
(3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	親魚による人工受精・・・11月中旬、定置網にかかった親魚を買い取り、活魚蓄養施設に網を張り、網に産卵させ、産卵した網を港内水面に垂下し自然孵化を促す。漂着卵の回収・・・海岸に漂着した卵塊を回収し、ホタテガイ養殖用籠に収容し、港内水面に垂下し、自然孵化を促す。
(4) 19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	補助率10%削減(補助率50% 40%)
(5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	・わかさぎ増殖事業 ・ウニ・アワビ種苗放流事業
(6) 事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20 予算
(1) 直接事業費(千円)	300	129	70	342
(2) その他の間接経費(千円)				
(3) 従事正職員の人件費(千円)	950	911	987	
総事業費((1)～(3)の合計:千円)	1,250	1,040	1,057	
事務に従事した正職員延べ人数	0.11	0.11	0.11	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
入	区 分				支	区 分				
	H17	H18	H19	H20 予算		H17	H18	H19	H20 予算	
収	市補助金等(A)	300	129	70	342	親魚購入費	301	107	44	350
	その他	302	130	106	668	備船料	205	128	125	400
						資材購入費	25	17	0	100
						その他	71	7	7	50
	計(B)	602	259	176	1,010					
(A/B)	49.8	49.8	39.8	33.9	計	602	259	176	900	

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
ハタハタ孵化放流数(千尾)	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
	実績値	700	700	5,500	
	達成率	7.0	7.0	55.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
漁獲量(トン)	目標値	155	120	47	33
	実績値	30	47	22	
	達成率	19.4	39.2	46.8	
漁獲高(千円)	目標値	109,000	84,000	28,320	21,200
	実績値	31,950	29,673	13,386	
	達成率	29.3	35.3	47.3	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	事業の成果と施策の成果とに関連があるか
その事業に市が関与する必要があるかどうか			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			イ 成果
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	事業の成果は目標を達成しているか
コスト削減は可能か			ウ 事業内容
(3) 公平性			1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は妥当か
さらなる受益者負担は可能か			(1)~(4)の評価ポイント合計
		総合評価の参考にしてください。	
		7~11	A or B
		12~15	B or C
		16~21	D or E
		14	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		時化の影響から親魚の確保が大幅に減少したが、漂着卵の回収は一定量を確保した。しかしながら漁獲量、漁獲高とも目標を達成するに至っていない。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題	ハタハタ増殖事業は、親魚による人工受精と漂着卵回収による自然孵化の2本立てにより実施しているが、共に時化による影響を強く受けることから、今後とも両手法による孵化増殖事業を継続して実施する。		
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		ハタハタ漁は、放流数と漁獲量がイコールにならない。つまり海水温や時化のときにハタハタがよっててが漁に出れない等の要因がある。しかし、漁体数はタックをつけて放流したハタハタが取れているので、確実に効果は上がっている。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題	厚田のハタハタは、ご承知の通りブランドであることから、さらに根気よく継続することが重要である。		
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		